

令 和 7 年 8 月

湯来地域における小中一貫教育校開校準備会議 第4回全体会（令和7年度第1回全体会）発言要旨

○：地域関係者、●：教育委員会等及び学校関係者

【議事1：令和7年度 開校準備会議の運用等について】

【議事2：令和6年度の振り返りと令和7年度の予定について】

○ 教育活動・学校生活部会に関して、昨年度に紹介した他都市の事例とはどこか。近隣では、廿日市市の大野学園が、特色として地域資源である木材を活用した小中一貫教育校を設置している。また、通学部会に関して、特に砂谷中学校付近から新設校までの経路（坂道）の安全対策について、大竹市の小方学園も高台にあるが、他市町がどういった安全対策に取り組んでいるかといったことは調査しているか。

● 指導第一課

昨年度の教育活動・学校生活部会では、大阪府の能勢町立能勢ささゆり学園について、コミュニティ・スクールを活用した事例として紹介した。

● 健康教育課学校安全対策担当課長

通学路等の安全対策について、他市町の事例は調査していないが、広島市内の他校の状況を見ながら検討している。

○ 昨年度の通学部会等を踏まえて、砂谷中学校付近から新設校までの経路の安全対策について、この時期に通学部会を開催して何らか示してもらえると思っていた。整備に当たっては予算の都合や他の部署との調整等もあるのかもしれないが、現状や今後の見通しを教えてほしい。

● 健康教育課学校安全対策担当課長

佐伯区役所と現地立会した上で検討を進めているところであるが、予算要求等の関係もあり、地域の皆様に何らか示せるのは12月頃になると考えている。この間にも、地域の関係者も含めた現地立会等を8月頃に開催して、方向性を確認しながら検討を進めたいと考えている。

○ 地域住民としては、安全対策について年内には詳しい状況が分かるという認識でよいか。

● 健康教育課学校安全対策担当課長

予算要求の状況としては12月頃になるが、8月頃の現地立会等で方向性を確認したり、秋頃の通学部会で途中経過を報告したりといったことは考えている。

○ 保護者としては安全対策に关心が高い。実際に子どもを連れて歩いてみたが、単に側溝をふさいだらよいというわけでもないように感じた。毎日子どもが歩く道なので、しっかり安全が保たれていることが確認できた上で、学校建設や開校に向けた検討を進める必要があると思っている。地域の学校として、学校まで安全に行けるということが重要であり、そこが十分でないと、色々と難しい点が今後出てくるのではないかと心配している。保護者が安心して子どもを通わせることができるように、引き続き、よろしくお願ひしたい。

- 地域住民も含めた現地立会も重要なためぜひお願いしたいが、他都市でも高台に建っている学校は多々あると思うため、こうした学校でどういった対策をされているか、どういった取組で安全面を解決しているかということも教えてほしい。こうした事例やデータがあると、行政側も検討が進みやすく、地域側もより納得しやすいのではないかと思うので検討してほしい。
- 健康教育課学校安全対策担当課長
広島市内の他校でも傾斜角のある所に建っている学校もあるので、あらためて調べたい。

【議事3：校舎新築工事に伴う基本・実施設計の進捗状況等について】

- 参考までに、5者以上の応募とは具体的に何者か。また、どのように5者を選定したのか。今回説明のあった3つの評価テーマを基準にして選定したのか。
- 施設課長
応募者数について現時点で公表できることについてご了承いただきたい。評価テーマは、（応募者から）5者の選定に当たって用いたものではなく、今後、この5者から提出された技術提案書を審査委員会で審査する際に用いるものである。5者は、審査委員会で、応募者の過去の実績等に基づいて選定した。
- 昨年度のやり取りを踏まえると難しいとは思うが、設計者の決定前に、提案内容等について地域の意見や思いを伝えたいがどうか。また、昨年度の会議で、外部の有識者からの意見聴取を検討しているとの説明があったが、有識者はどういった方にお願いするのか。
- 施設課長
公正性確保の観点から、提案内容や有識者等について事前に公表できることについてご了承いただきたい。なお、設計者の決定後に公表される予定である。

(以上)